

部会長：小泉 雅生

(仮称) 設計部会の活動方針 (案)

1. 部会の目的

心身の健康の維持、増進のために、住まい及び住環境が果たす役割は大きい。住宅の設計にあたっては、その物理的な性能やそこで展開する生活像が個別に検証されることが多い。しかし、健康な暮らしにはそれらを横断的に捉えていく視点が不可欠である。

単体の住宅から周辺環境まで、部材や設備機器から住まい方まで、様々なスケールとレベルで健康性の検証を行い、具体的な家づくり、街づくりのための指標を導きだし、健康維持増進住宅の有効な設計手法を開発することを目的とする。

2. 研究内容

(1) 健康増進に関わる要素技術の把握

住宅における健康性に配慮した素材の開発、健康性の観点からのディテール・工法の検討、健康増進に寄与する設備機器の把握を行う。

(2) 健康性を生み出し、維持する、空間・地域特性の把握とその有効性の検証

空間性及び及ぼすメンタルな健康面への影響、文化性や地域性を考慮したユニバーサルデザインのあり方、健康性からみた環境共生のあり方などを検証する。

(3) 健康維持に関わる要素技術と空間・地域特性の統合化

各部会で提案された素材・工法・設備機器などの要素技術および空間・地域特性を、住宅設計という観点から検証し、統合化を図る。技術・特性相互の関係や取り合い、デザインへの影響などの分析、統合化の過程における問題点の抽出を行う。

(4) 健康維持増進住宅設計手法の開発

要素技術と空間・地域特性をふまえた、横断的かつ総合的な健康維持増進住宅の設計手法の開発を行い、その有効性を検証する。

3. 方法

(1) 既往研究の整理

(2) 専門家からのレクチュア及び事例調査

(3) 要素技術の統合化

4. アウトカム

(1) 健康維持増進住宅の設計手法の開発

(2) 健康維持増進のための住まい方に関わる提言

5. 部会の委員構成案

小泉 雅生 (首都大学東京都市環境科学研究科 准教授) 部会長
部会長を中心として部会委員を構成する。

要素技術の把握

1. 素材・工法
2. 設備機器

空間・地域特性の把握と検証

1. 空間特性
2. 地域特性

健康維持増進住宅の 設計手法の開発

要素技術と空間・地域特性の統合化

素材・工法

- ・調湿建材
- ・防カビ・防ダニ
など

設備機器

- ・放射冷房
- ・清浄空気装置
など

空間特性

- ・開口部、天井高
- ・ユニバーサルデザイン
など

地域特性

- ・地域性、文化性
- ・環境共生
など

